

新学期です。今年は3月が全国的にあたたかく、桜の季節が半月ほど早くきてしまいました。東京などでは学年末の終業式に桜が咲きました。こうなると入学式にはサクラチルになってしまいそうです。とはいえ、年度の切り替えは新しい希望にみちた時期でもあります。高等学校では、新学習指導要領が本格的に始まり、経済学習もリフレッシュされることが期待されています。

今月も、先生方の力になるような情報提供や活動の情報を報告いたします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

3月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■ 京都部会 (No.18) を開催しました

日時：2013年3月8日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容の概略：出席者7名。西村先生より夏の教室の概略の紹介のあと、上畑直久先生(御池中学)より消費生活と経済の仕組みについての指導案が示されました。契約の重要性、信頼の重要性を理解させることをねらいとした授業であり、これまでの部会での検討を踏まえて改善されたものです。次いで、川上敏和先生(同志社大学)より、筑波大学で教員養成向けにおこなわれた経済学の授業でのミクロ、マクロの演習問題へのコメントがありました。

当日の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto018report.pdf>

■ WS 稚内、公開授業が開催されました

日時：2013年3月8日(金) および9日(土)

場所：北海道豊富高校、および稚内北星学園大学

内容の概略：2月に予定されて、天候の関係で延期されていたWSです。

3月8日には豊富高校で、升野伸子先生(筑波大学附属中)による公開授業

「生産の仕組みー生産活動のしくみの理解を通して、利潤や賃金等の公正について考えるー」が行われ、その後協議が行われました。この日の授業は北海道新聞でも紹介されました。

翌9日には場所を稚内北星学園大学に移し篠原代表が「歴史から経済を読み解くー金本位制、

禁輸出禁止・解禁、高橋財政、井上財政」の講義をおこないました。

次いで升野先生が前日の公開授業を踏まえて「賃金から考える公正」の問題提起をされました。さらに、野間敏克先生（同志社大学）が「高校入試問題、大学入試問題から経済を読み解く」の講義をされました。

WSの詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/WS%20WakkanaiReport.pdf>

北海道新聞に掲載された実践授業の様子は以下をご覧ください

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/Hokkaido%20Newspaper20130309.JPG>

■年次大会を開催しました

日時：2013年3月23日（土） 13時00分～17時00分

場所：同志社大学寒梅館A会議室

内容の概略：昨年の年次大会でのテーマに引き続き、「経済教育と法教育の対話その2」がコーディネーター中川雅之先生（日本大学）のもとで行われました。全体は二部にわかれ、一部では問題提起者として経済学から安藤至大先生（日本大学）から経済学からみた労働問題のとらえ方の講演があり、次いで法学から野中忍先生（明治大学）からの講演がありました。

二つの講演をうけて中川先生のまとめがあり、二部では吉田英文先生（生野高校）から高校での実践報告が、関本祐希先生（交野支援学校）からは前年まで勤務していた中学校での実践報告がありました。その後討議が行われました。

報告、討議のなかから労働問題のように経済、法、さらには生徒のライフコースなど総合的な要素を持っている領域では、経済教育、法教育それぞれのロジックを踏まえてキャリア教育的アプローチも加えて扱う必要があるとの方向性がみえ、充実した年次大会となりました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/event/20130323symposium%20report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。

■4月以降の予定

(1) 東京部会 (No.57)を開催します

日時：2013年4月18日（木）19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部会議室

参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo057flyer.pdf>

(2) 大阪部会 (No.33)を開催します

日時：2013年4月27日（土）18時00分～20時00分

場所：同志社大学大阪サテライト

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka33flyer.pdf>

(3) 札幌部会 (No.7) を開催します

日時：2013年5月18日(土) 14時30分～17時00分

場所：会議・研修施設 ACU [アキュ]

札幌市中央区北4西5 アスティ 45 12F,16F

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo007flyerRvsd.pdf>

■夏休み経済教室のプログラムがほぼ確定しました

2013年8月1日高校向け, 2日中学向け 名古屋(ウインクあいち)

同 8月5日中学向け, 6日高校向け 大阪(天満橋・国民会館)

同 8月8日中学向け, 9日高校向け 福岡(天神ビル)

同 8月12, 13日 東京高校向け(東証)

同 8月19, 20日 東京中学向け(東証)

内容では、講演に真壁昭夫先生(信州大)「中高生におしえたい時事問題」、
講義に小巻泰之先生(日本大)による「教科書で読み解く景気変動」、
野間敏克先生(同志社大)、「教科書で読み解く歴史」、篠原代表(同志社大)
「歴史を経済から読み解く<世界恐慌>」などが予定されています。また、
「経済の授業をエコノミストとつくる」という現場教員と経済学者の連携プログラムを
新たに各会場で行います。大竹文雄先生(大阪大学)の行動経済学に関する講義も
計画されています。中学校向けでは、経済教育の関係者も含めてのテーブルトークも
予定されています。

確定した内容とその案内は5月中旬までには行われる予定です。

【 3 】授業のヒント

「書をもって外にゆこう」

昔あった「書を捨てよ、街に出よう」の向うを張ったわけではありませんが、
今回は内容は博物館などの利用のすすめです。

今、東京の日本科学未来館では「波瀾万丈！おかね道—あなたをうつし出す10の実験」
という企画展が行われています。これは大竹文雄先生も監修されている実験経済学の知見を
踏まえた興味深い展示です。例えば、東京の近くの学校ならこの展示会を遠足のコースや
社会科見学のコースに入れるなどはどうでしょうか。教室を飛び出した経済学習が可能に
なります。

各地にも同じような博物館はあるはずです。経済の内容でなくともそれを経済の学習と
リンクさせて考えさせることもできます。例えば、仏像でもそれを作った人だけでなく、
作成費はだれがどう出したのかなどを考えさせると経済発展と文化を考えることもできます。

北前船のように商品のネットワークを扱ったものなどは経済学習そのものです。

地域の公立の博物館なら、学校とタイアップをして学習活動をするに大いに援助の手を差し伸べてくれるはずです。まずは、先生方がこの春休み、地域の博物館に足をのぼしてみたらいかがでしょうか。(新井)

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

プロ野球が開幕されます。注目は日本ハムの大谷翔平選手です。なぜか？
投手とバッターの二本立てを目指しているからです。経済学の観点から言えば、これはだめです。高校野球ならいざしらずプロの世界で通用するとは思えない。
どちらつかずになってしまうはずです。
結果は一年後、いや夏までにはわかるはずです。みなさんはどう予想されますか？(新井)



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

(C) Network for Economic Education ◆◆